

## 将棋が結ぶ笑顔と真剣のねんりん世代

対局時計の時間が切れ、負けましたと深く頭を下げる。

1回戦、浜松チームと対戦、ちょっとした相手のミスもあり 3-0 で全員が勝てました。「おっ、もしかしたら」と思ったが、2回戦は 1-2 で負け。やはり大阪チームは強いや。3回戦火の国熊本チームと対戦は 1-2 で負け。結局 1回戦は勝てたけれど、2回戦 3回戦は負けたので予選通過ならずでした。翌日、個人戦に挑む。チーム一人が 2回戦まで出場しましたが、準決勝に出ることができず敗退。残念。チャンスはあったのに、錯覚は一瞬に幻想となりました。

思えば自分にこのねんりんピックの話が来たのは 6月初め。全国の強豪が集まって争う大きな大会に、私が参加してもいいのかなと戸惑っていましたが、自信はないものの、行ってどのくらい通じるのか試してみたい気持ちもあり、出ることにしました。大会の日が近づくにつれ、説明会や支部の顔合わせ練習試合やらとだんだんと不安になっていきましたが、何回もねんりんピックに参加している先輩が楽しんでくればいいんだよと言ってくれてプレッシャーが取れました。

さて 10/17、神奈川県からいざ出発。一行は新幹線で豊橋駅へ。そこからはバスで、途中に豊川稲荷によって祈願。その日は蒲郡市のホテルにて、みんなで美味しい食事をいただきながら和気あいあいと話に花を咲かせました。偶然近所の顔見知りのペタンクチームの一員を見つけ、まさかこんなところで会うなんて本当にびっくりしました。10/18、いよいよ岐阜の長良川競技場へ。9時頃にやっと長良川競技場へ着きましたが、あまりの人の多さに圧倒されました。北海道から沖縄までおよそ 1 万人の選手団が集まっていると

は、関係者の人達はさぞ大変だったと思います。本場岐阜の郡上踊りの催し物もあり無事開会式も終わり、選手は各地区へ大移動です。将棋交流大会は、美濃加茂市中央体育館で行われました。我々は近くの自然公園内のホテルに2泊。まずはご馳走を前に明日の大会に向けて乾杯。むっ、これはうまい。この塩焼きの引き締まった上品な味、私の地元の川の鮎も有名だが、負けた。隣の席では北海道から来たらしい将棋チームがビールを飲みながら賑やかに話していました。

10/19はバスで大会会場へ。活気あふれる緊張の中、ボランティアの皆様がとても親切で感じよい笑顔でおもてなしをしてくださいました。結果は負けましたが、この大会に参加でき良い経験ができたと思いました。また参加したいです。健康であれば、年齢はただの数字です。